

令和3年度 第1回食形態検討会

令和3年6月14、15、17、18日

食形態検討会は、児童生徒の食機能について検討し安全に発達を促すための食形態や指導目標を確認する目的で年2回実施しています。第1回検討会は小学部の新1年生を中心に9名の児童生徒について、給食時の様子を撮影したビデオを見ながら話し合いました。学校給食係、学級担任、担当教員、養護教諭、栄養士など校内の職員の他、最終日には療育センター一耳鼻咽喉科の医師をお招きしていろいろな視点から検討がなされました。口の動きや飲み込みの様子、再調理の方法や介助の仕方など、検討会で出された意見やアドバイスをもとに、保護者と願いや思いを共有しながら今後の給食の指導に活かしていきたいと思ひます。



校内の職員による検討会の様子



最終日は療育センターの医師をお招きし検討会を開きました。

<食べ方のチェックリスト>

	項目
取り込むとき	食べ物の大きさに合わせて口を開けることができるか
	上唇をおろして取り込むことができるか
	舌の突出がないか
食べているとき	口唇閉鎖ができるか
	口角が動くか
	舌が動くか
	顎が動くか
飲み込むとき	口唇閉鎖ができるか
	舌の突出がないか
	むせがないか

健康教育部学校給食係